Excel マクロまとめ

t-akaike

注意!!

この資料は、マクロを「なんとなく理解できる状態」になることを 目標とし、とても簡単にまとめています。

そもそも、僕が少しネットで調べた内容をまとめているため、内容 の不足や認識の齟齬などあるかもしれません。その点、ご理解いた だけると幸いです。

目次

- 1. 「マクロ」って?
- 2. マクロを組んでみよう
 - 1. やりたい作業の確認
 - 2. マクロを組もう!
 - 3. マクロを実行しよう!
 - 4. マクロとプログラミング

1. 「マクロ」って?

- 手作業の処理(流れ)を保存して、全く同じ処理を繰り返すためのもの。
- いわゆるプログラミングをせずとも、マクロは組める。

【例】:成績表から、5教科合計400点以上を抽出

- ■手作業だと・・・
 - 1. 表の一部にカーソルを合わせる。
 - 2. フィルタリング。 (Ctrl + Shift + L)
 - 3. 「合計」列の「▼」をクリックし、「数値フィルター」から 「指定の値以上」を選択。「400」と入力し「OK」をクリック。

処理1 処理2 処理3

※上記処理をマクロとして「保存」すると、ショートカットキーやボタンで呼べるようになる! 一連の処理を保存すると、同じ処理を一瞬で実行できるようになって楽チン!!

2-1.マクロを組んでみよう ~ やりたい作業の確認~

・「成績表から、5教科合計400点以上を抽出」する処理をマクロにする。

1. 表の一部にカーソルを合わせる。

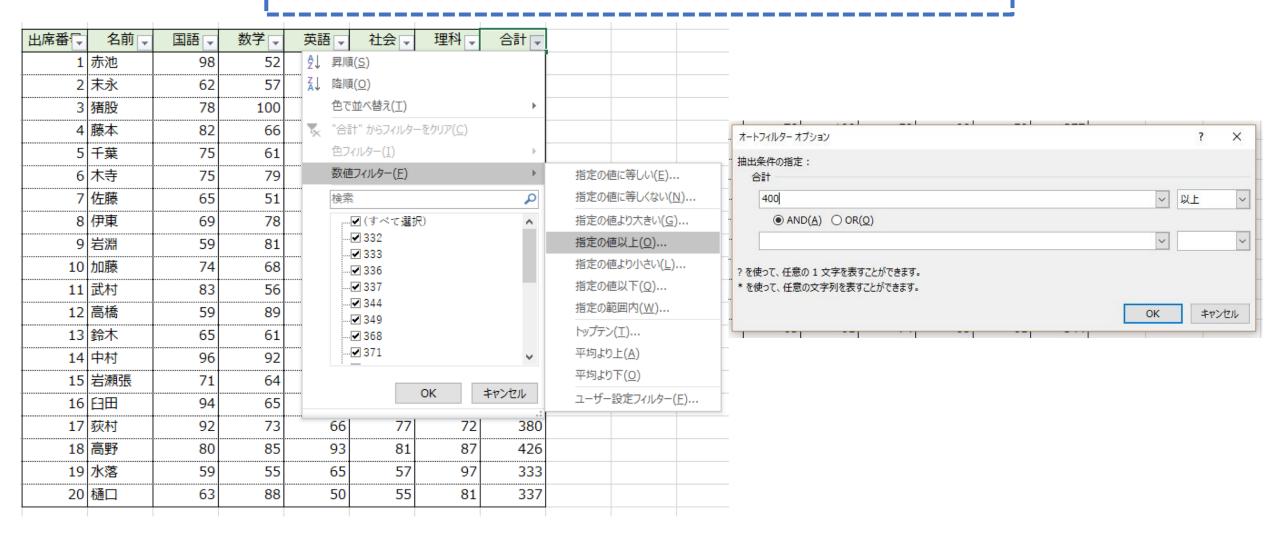
2. フィルタリング。(Ctrl + Shift + L)

出席番号	名前	国語	数学	英語▼	社会。	理科	合計
1	赤池	98	52	63	52	84	349
2	未永	62	57	59	77	77	332
3	猪股	78	100	59	90	50	377
4	藤本	82	66	97	77	90	412
5	千葉	75	61	70	77	53	336
6	木寺	75	79	89	76	83	402
7	佐藤	65	51	94	87	95	392
8	伊東	69	78	56	92	73	368
9	岩淵	59	81	88	71	78	377
10	加藤	74	68	55	88	86	371
11	武村	83	56	78	83	96	396
12	高橋	59	89	92	92	76	408
13	鈴木	65	61	74	83	61	344
14	中村	96	92	66	65	78	397
15	岩瀬張	71	64	83	95	96	409
16	臼田	94	65	91	89	74	413
17	荻村	92	73	66	77	72	380
18	高野	80	85	93	81	87	426
19	水落	59	55	65	57	97	333
20	樋口	63	88	50	55	81	337

^{※「01}_original.xlsx」を使用すること。

2-1.マクロを組んでみよう ~やりたい作業の確認~

3. 「合計」列の「▼」をクリックし、「数値フィルター」から 「指定の値以上」を選択。「400」と入力し「OK」をクリック。



2-1.マクロを組んでみよう ~ やりたい作業の確認~

一連の処理の結果、以下のように合計点数が400点以上のレコードが抽出される。

出席番	名前↓	国語	数学↓	英語↓	社会▽	理科▼	合計,
4	藤本	82	66	97	77	90	412
6	木寺	75	79	89	76	83	402
12	高橋	59	89	92	92	76	408
15	岩瀬張	71	64	83	95	96	409
16	臼田	94	65	91	89	74	413
18	TO SERVICE STREET, STR	80	85	93	81	87	426

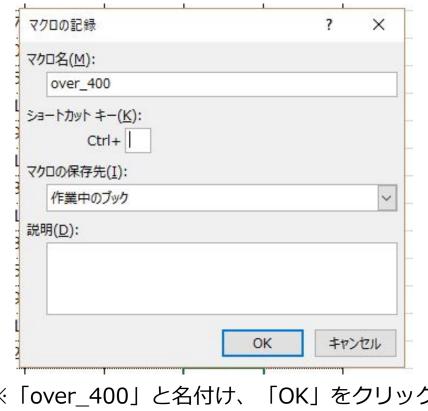
2-2.マクロを組んでみよう ~マクロを組もう!~

- これまで確認した処理を「マクロの記録」の実行中に行えば、マクロにできる。
- 「記録完了」をクリックするまでの自分の操作がマクロとして保存される。

【マクロの登録・実行箇所】



【「マクロの記録」ダイアログ】



※「over 400」と名付け、「OK」をクリック

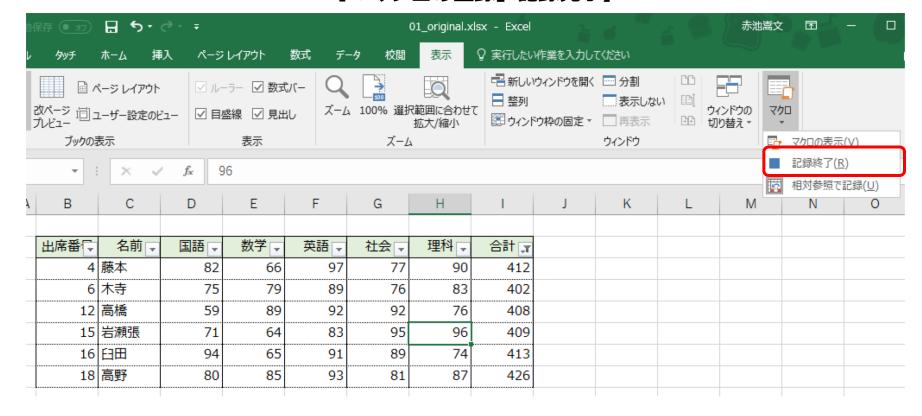
2-2.マクロを組んでみよう ~マクロを組もう!~

- ・これまで確認した処理を「マクロの記録」の実行中に行えば、マクロにできる。
- 「記録完了」をクリックするまでの自分の操作がマクロとして保存される。

【「マクロの登録」実行中】



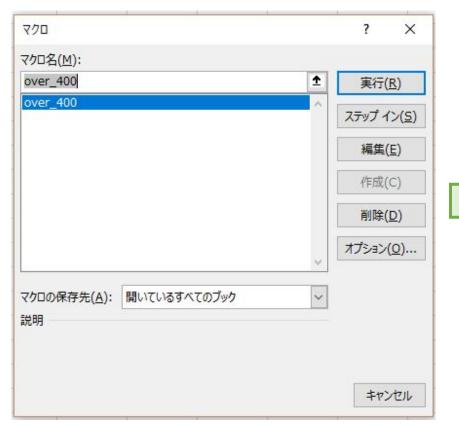
【「マクロの登録」記録完了】



2-3.マクロを組んでみよう ~マクロを実行しよう!~

- 「マクロの表示」をクリックすると、成果物が登録されているのがわかる。 任意のマクロを選択し「実行」ボタンをクリックして、処理を実行する。
- シートをコピーした場合、コピー先のシートでもマクロを実行できるため、 元の値を書き換えて適用することができる。

【マクロの表示】



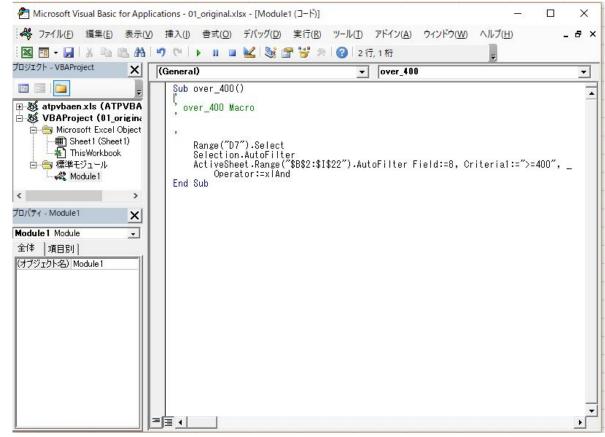


2-4.マクロを組んでみよう ~マクロとプログラミング~

• Excel上での操作は、「VBA」というものでプログラミングできる。

2-2でマクロを作った際、Excelの内部では2-1で実行した処理に対応する 『VBAのプログラミング結果』に名前をつけて保存し、後から呼び出せるよ

うにしている。



※プログラミングのやり方まで深入りすると(僕が)面倒なので、一旦ここで歩を止める。

fin.